

2024 年度
調査報告書

中学生のスポーツ活動と
保護者の関与に関する調査

目次

調査概要	1
1 章 調査結果 (宮本幸子・須藤巖彬・船木豪太)	5
1. 部活動・スポーツクラブ	6
2. 子どものスポーツに対する意識	56
3. 子どものスポーツ歴・教育	65
2 章 テーマ別分析	71
1. 母親の就業状況は子どものスポーツ実施にどう関わっているのか —専業主婦、非正規雇用、正規雇用間の比較— (加藤一晃)	72
2. 中学生のスポーツ機会に地域差はみられるのか —加入状況・保護者の関与・費用の分析を通して— (宮本幸子)	83
3. 子どものスポーツにおける暴力受容に関する保護者の意識 (村本宗太郎)	88
3 章 まとめと提言 (中澤篤史)	95
中学生のスポーツ環境の再構築に向けて	96
—スポーツ機会の格差問題を踏まえた提言—	

調査概要

本調査は、中学生がどのような環境でスポーツをしているのか、保護者がどのように関与し、ささえているのかを明らかにすることを目的として実施した。

近年、子どもの生活全般にわたって保護者の影響力が強まり、運動部活動でも保護者会の組織化や学校との連携が進んでいる。さらに部活動の地域展開が進む中で、有償化による費用負担の増加や、学校外での活動による送迎負担の拡大などにより、家庭の影響力が一層強まることが懸念されている。

そのような状況にありながら、中学生のスポーツ活動における保護者の関与については、これまで体系的な調査はほとんど実施されてこなかった。そこで本研究では、中学生の保護者を対象とした量的調査を行い、家庭の状況が中学生のスポーツ実施にどのように関わっているのかを明らかにするとともに、政策へのインプリケーションや学術研究への問題提起を目指した。なお、本報告書は基本的なデータ紹介を扱う1章と、テーマ別の分析を行う2章から構成される。1章では各調査項目について、部活動(運動部・文化部)とスポーツクラブの比較、母親回答と父親回答の比較、世帯年収別などを中心に属性別の分析を行っている。2章では1章で十分に扱いきれなかった母親の就業形態による違いや地域差、保護者の意識に着目した論考を展開している。

1) 調査概要

【調査方法・調査対象】

登録モニターを対象としたインターネット調査。中学1～3年生の第1子をもつ保護者(母親・父親)が対象。子どもの属性(性別・学年・地域ブロック)は人口構成比に応じて割り付けた。

【有効回答数】

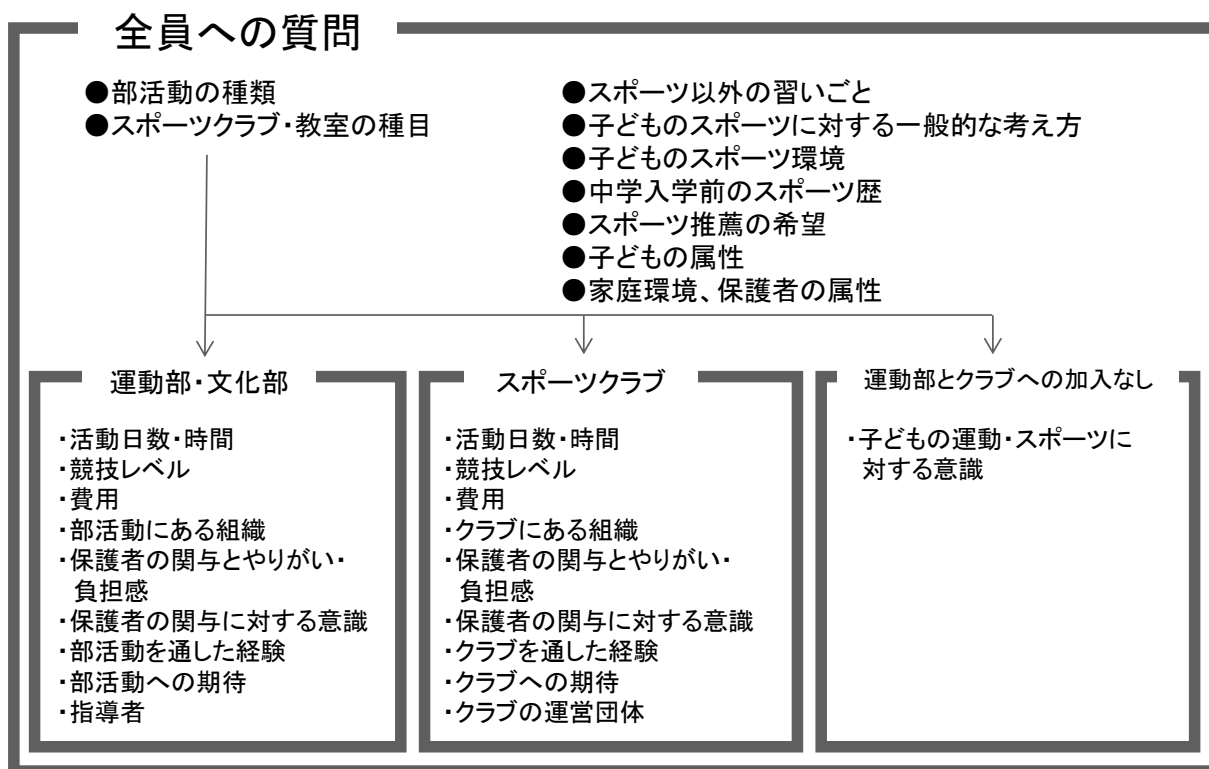
3,136(母親 1,586、父親 1,550)

データクリーニングの過程で、同一選択肢が連続するなど回答傾向が不自然と判断されるケースを除外した。

【調査時期】

2025年1月

【主な調査項目】



2) 体制

本研究は以下の体制で実施した。なお、所属・肩書はすべて 2025 年 9 月時点のものである。

調査担当 宮本 幸子(笹川スポーツ財団 シニア政策ディレクター)

共同研究者 中澤 篤史(早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授)

研究協力者 加藤 一晃(名古屋芸術大学 芸術学部 講師)

村本 宗太郎(立教大学 スポーツウェルネス学部 助教)

須藤 巖彬(早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科 博士課程)

船木 豪太(早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科 博士課程)

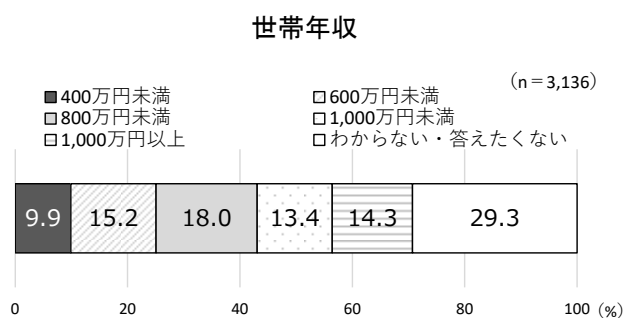
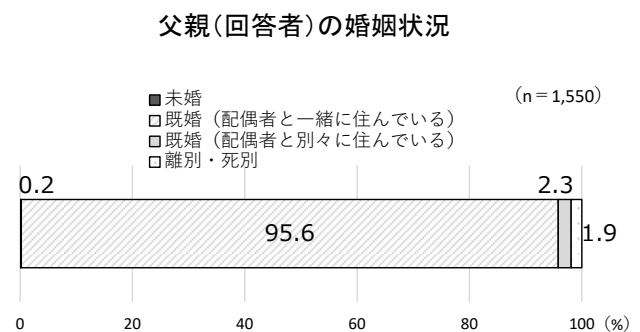
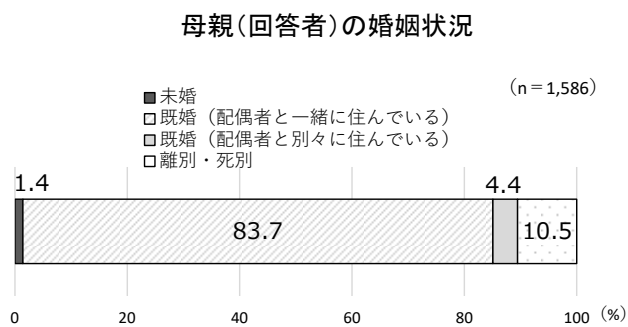
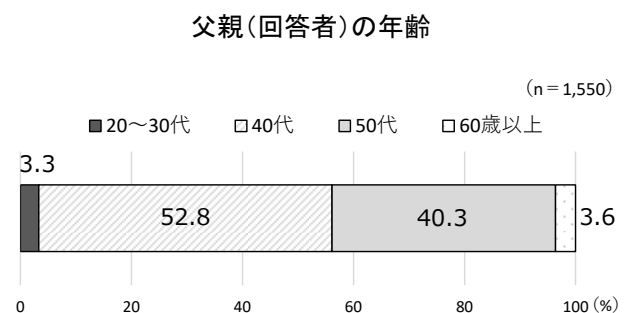
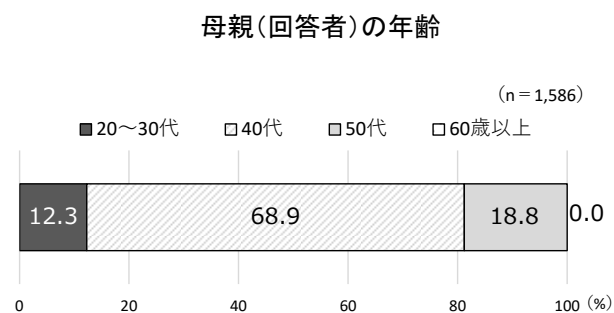
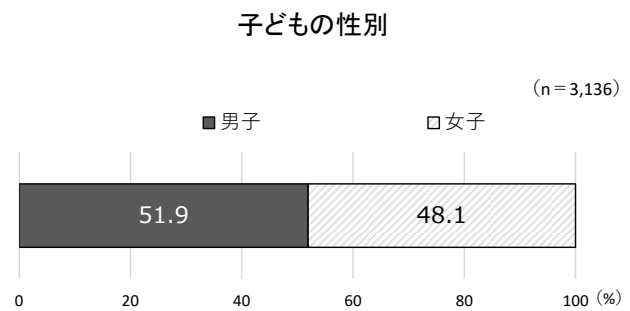
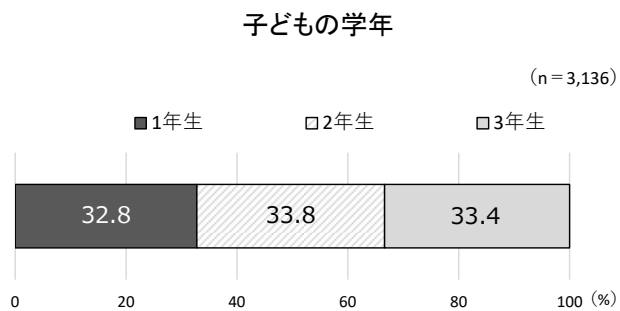
3) 調査結果を読む上での注意点

・本文および図表中のパーセント表示は、小数点第二位を四捨五入した値を記載しているため、合計が 100%にならない場合がある。

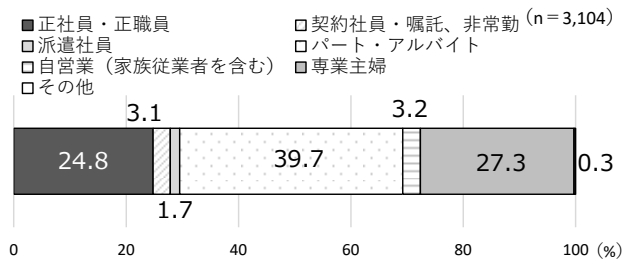
・第 1 章における部活動・スポーツクラブ別の分析は、回答された加入状況(1 章 1.3 参照)をもとに分類している。なお、部活動とスポーツクラブの双方に加入している場合は、それぞれの分析対象に含めている。

4) 基本属性

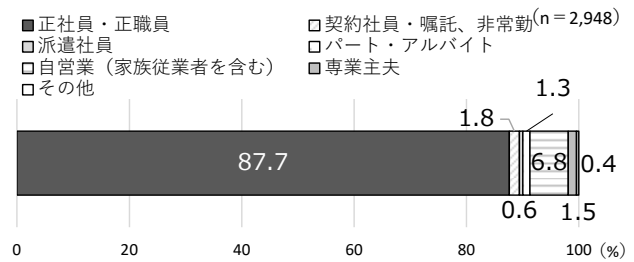
本調査における回答者の基本属性は以下のとおりである。



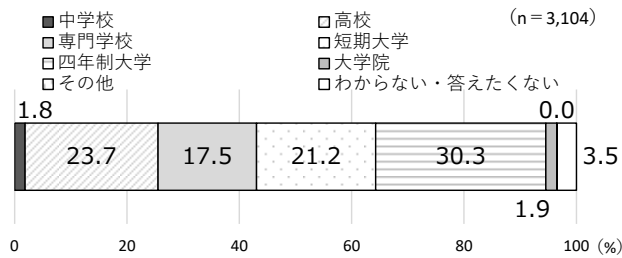
母親の就業形態



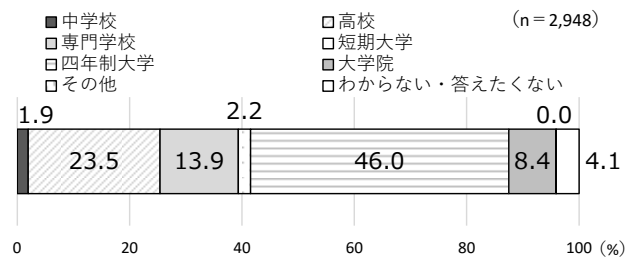
父親の就業形態



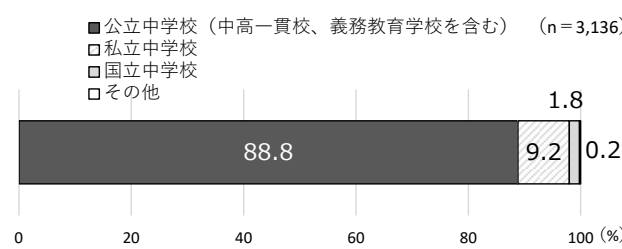
母親の最終学歴



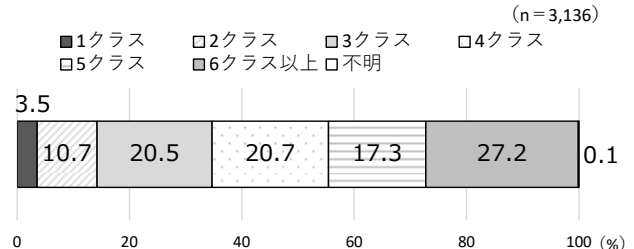
父親の最終学歴



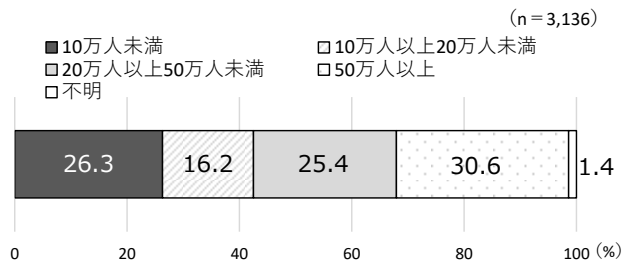
中学校の種類



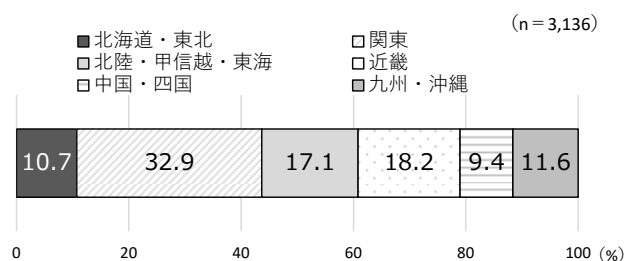
学年のクラス数



居住する市区町村の人口規模



居住する地域ブロック



注1) 就業形態および最終学歴について、「母親」は本人回答と父親の配偶者回答、「父親」は本人回答と母親の配偶者回答を合算して算出している。